

Kuki



市民と市政をつなぐ情報紙

広報くき

9

2026 (令和8年)

No.306

もし、あの日の雨が
もう一度降ったら

写真：利根川上流河川事務所 栗橋水位観測所
利根川の水位を観測し、河川の状況把握や洪水時の水防活動などに活用されています。
観測所には、過去の洪水で記録された水位が残されており、当時の水害の大きさを今に伝えています。

もし、あの日の雨が もう一度降ったら—— 大切な人を守るために、今できること



▲昭和22年9月のカスリーン台風で浸水した旧栗橋町の様子（写真出典：利根川上流河川事務所）

水害を知る

過去の教訓から、 未来の備えへ

皆さんはカスリーン台風をご存じですか。昭和22年9月に発生し、久喜市にも甚大な被害をもたらした台風です。

カスリーン台風の運んできた湿った空の影響で、日本列島付近に停滞していた秋雨前線が活発化し、利根川流域と荒川流域の広い範囲に豪雨をもたらしました。降り続いた大雨により、現在の加須市にある利根川の堤防が決壊。荒川流域でも堤防が決壊し、氾濫した水は利根川の決壊地点から約60kmも離れた東京都江戸川区にまで到達しました。死傷者3,520人、家屋浸水約30万戸におよぶ甚大な被害が生じました。

カスリーン台風が もたらした被害

死傷者
3,520人

家屋浸水
約30万戸

全国で頻発する水害

近年、日本各地で線状降水帯の発生や台風の大規模化などにより、毎年のように河川の氾濫や浸水被害が発生しています。昨年8月には、九州地方を中心に記録的な大雨が降り、河川の氾濫や道路の冠水、土砂災害などが相次ぎました。

身近なものでは、令和元年東日本台風（台風19号）が皆さんの記憶にも新しいのではないのでしょうか。線状降水帯により、利根川流域に豪雨が降り続き、利根川の水位が氾濫危険水位を超えました。氾濫こそ免れたものの、約9,000人の市民が避難所へ避難するなど、水の脅威が目の前まで迫りました。水害は、いつ、どこで発生してもおかしくない、私たちにとって身近な災害となっています。

久喜市の水害リスク

久喜市の北部は利根川に接しており、万が一利根川が氾濫すると、市内全域が浸水します。特に、栗橋・鷺宮では浸水の深さが2階床上にまで達することが想定され、甚大な被害が出る恐れがあります。また、市外を流れる荒川や江戸川などが氾濫した場合にも、久喜市への浸水の影響が想定されています。河川氾濫の他にも、排水機能を超える雨が降ると、雨水が流れず溜まってしまいうち水氾濫が発生する恐れもあります。氾濫する河川によって、浸水する地域が異なります。自分の住む地域はどの河川が氾濫した時に注意が必要なのかを日頃からハザードマップなどで確認しておきましょう。

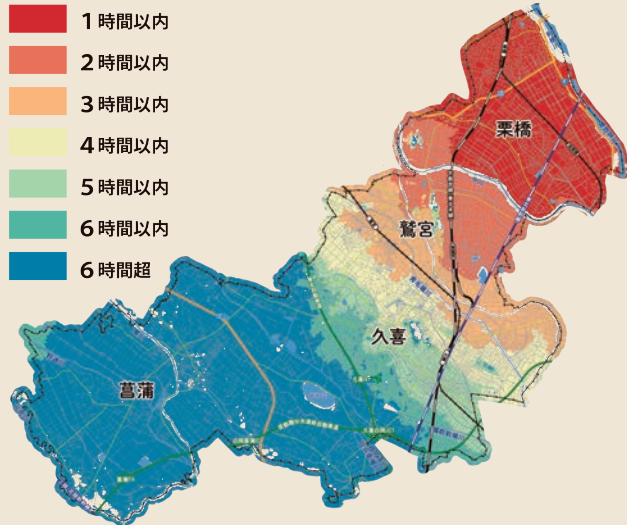


▲利根川が氾濫した場合の久喜駅周辺における浸水想定（赤いテープの位置）

利根川が氾濫すると… 市内全域が浸水！

堤防決壊から浸水開始まで

- 1時間以内
- 2時間以内
- 3時間以内
- 4時間以内
- 5時間以内
- 6時間以内
- 6時間超



- ・栗橋では95%以上、鷺宮では80%以上が、在宅避難困難となる。
- ・氾濫から1時間で栗橋の大半、3時間で鷺宮の大半と久喜地区の一部に浸水が広がる。菖蒲地区は、氾濫が発生してから6時間以降に浸水。

進む水害対策



▲工事後の栗橋地区の利根川堤防（写真出典：利根川上流河川事務所）

▲工事前の様子

カスリーン台風による被害から、令和9年で80年が経ちます。この教訓を風化させることなく、いざという時に自分や家族の命を守るよう、これから本格化する台風シーズンに向けて、今日から水害への備えを進めていきましょう。



▲利根川の堤防が決壊した地点（写真出典：利根川上流河川事務所）



▲堤防が決壊した地点の航空写真（写真出典：利根川上流河川事務所）

水害の被害が発生する恐れのある区間において、堤防の安全性を高めるため、国土交通省が「首都圏氾濫区域堤防強化対策」を進めています。利根川上流河川事務所によると、栗橋地区の盛土工事は令和5年度末までおおむね完成したとのこと。本市においても、台風や大雨時の河川の負担を軽減するため、学校の校庭を活用した雨水貯留浸透施設の整備などを行っています。

「令和の大改修」など対策は進んでいます。災害を完全に防ぐことはできません。命を守るためには、一人ひとりの備えが必要不可欠です。



今日から始める 水害への備え

備えに「早すぎる」はありません。
できることから、今すぐ始めましょう！



物の備え

必要なものをすぐに持ち出せるよう備えておきましょう。
在宅避難に備え、生活必需品の備蓄を準備しておくことも大切です。

非常持ち出し品

持てる重さか
どうか確認！

非常食品	・飲料水 ・食料品（調理せず食べられるもの） ・缶切り、紙皿
貴重品	・現金、通帳、印鑑 ・マイナンバーカード ・免許証
救急・医療用品	・常備薬 ・お薬手帳 ・消毒液、絆創膏、包帯 ・マスク
防災用品	・ヘルメット、軍手 ・懐中電灯 ・充電器、モバイルバッテリー
衣類	・上着、下着 ・タオル ・雨具
衛生用品	・洗面用具 ・ウェットティッシュ ・携帯トイレ、生理用品
その他	家族構成や健康状態に 応じて必要なもの

7日以上推奨

非常用備蓄品

- ☐ 食料品（保存性がよく、簡単に食べられるもの）
- ☐ 飲料水（1人1日3リットルを目安）
- ☐ トイレ用品（簡易トイレ、トイレトーパー）
- ☐ 燃料（カセットコンロ、ガスボンベ、ストーブ）
- ☐ 生活用水（ポリタンクに水道水をためておく）

ローリングストック方式



情報の備え

災害時、スムーズに情報を入手できるよう、日頃から情報収集方法を確認しておきましょう。

久喜市防災アプリ

このアプリ1つで防災情報をまとめて確認できます！



- ▶避難行動
避難経路、避難所の開設状況・混雑状況の確認など
- ▶注意報・警報、避難情報
- ▶ハザードマップ
自分の位置を重ね合わせることができます。
- ▶防災関係情報
気象情報、交通機関の運行状況、ライフライン情報など
- ▶マイ・タイムライン
- ▶防災行政無線の放送内容
音声で聞くこともできます。

ダウンロードはこちら▼



iOS



Android

防災行政無線の情報は、
市公式ラインでも受け取れます。
ぜひ登録を！▶

スマートフォンをお持ちでない方

✉ **久喜市防災行政無線情報メール**
✉t.kuki@sg-p.jp に空メールを送信し、返信メールの指示に従って登録。

☎ **◆防災行政無線の電話応答サービス**
☎0120-220-300（通話料無料）

◆緊急情報架電サービス
ご家庭の電話に緊急情報をお知らせします。事前に登録が必要です。詳細はお問い合わせください。
☎ 危機管理課危機管理係（内線2650）

久喜市防災ハザードマップ

久喜市防災ハザードマップ（冊子）でも、浸水被害を軽減する方法など、防災情報をご確認いただけます。※配布は市内在住者限定



命を守る避難判断



防災気象情報は、避難のタイミングを判断するための大切な情報です。
令和8年5月には防災気象情報が改正され、危険度や避難の目安がより分かりやすくなりました。

避難情報（警戒レベル）				防災気象情報（警戒レベル相当情報）				
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報（避難情報等）	警戒レベル相当情報	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
					1級河川などの大河川の氾濫	低地の浸水や大河川以外の氾濫	急傾斜地のがけ崩れや土石流	海水面上昇や波の打上げによる浸水
					河川ごと	市町村ごと		
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保	5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
～～＜警戒レベル4までに危険な場所からかならず避難！＞～～								
4	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示	4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
3	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難	3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認する	レベル2大雨・土砂災害・氾濫・高潮注意報	2相当	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	1相当	早期注意情報			

避難情報

市が発令する避難情報の意味を正しく理解し、適切なタイミングで避難を始めましょう。

警戒レベル3 高齢者等避難

高齢者だけでなく、避難先までの移動に時間のかかる方（障がい者、乳幼児、妊産婦など）は避難します。車での避難を考えている方もこの段階で避難を始めましょう。

警戒レベル4 避難指示

全員が危険な場所から避難する段階です。

警戒レベル5 緊急安全確保

直ちに安全を確保する段階です。高いところに逃げ込むなど、安全を確保してください。

避難先

避難先は1つではありません。状況に応じて、安全な場所に避難しましょう。

①市外への広域避難

浸水の恐れが低い地域にある親戚や知人宅、宿泊施設などをご自身で避難先として確保しましょう。

②避難所への避難

避難所の安全レベルを参考に、安全性の高い避難所を目指しましょう。

③在宅避難・近くの頑丈な建物の上層階など

避難に危険を伴う場合は、無理に避難せず、少しでも安全な場所で身を守りましょう。

避難所生活の心得

少しでも快適に過ごせるよう
ルールやマナーを守り、
みんなで危機を乗り越えましょう。



避難所の運営 作業を分担し、助け合いながら、みんなでやる	衛生管理 ・清掃や換気はこまめに ・ゴミは分別を徹底
体調管理 ・定期的に体を動かす ・水分はこまめにとる ・体調が悪い場合は、早めに申し出る	ペットの同行避難 ・ペット用品は持参 ・指定の場所で、ルールを守って飼育する



情報を正しく理解し、 自分にとって最適な避難を

最適な避難のタイミングや避難先は、一人ひとり異なります。

自分や家族の状況にあった

避難行動を考え、

マイタイムラインを

作成しておきましょう。

